

記者発表

資料配付：平成 17 年 3 月 25 日

平成 17 年度事業計画

記者発表資料



<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

取 扱

平成 17 年 3 月 25 日 11:00 以降 解禁

問い合わせ先

河川関係 調査第一課長 二俣（ふたまた）

道路関係 調査第二課長 清水（しみず）

076 - 264 - 8800（代表）

平成17年度 事業計画のあらまし

ポイント！！

【完成事業】

一般国道470号 のうえつじどうしゃどう 能越自動車道 あなみず 穴水道路の全線供用

かなざわそとかんじょうどうろ やまがわかんせん 金沢外環状道路山側幹線の全線供用

(一般国道8号 かなざわとうぶかんじょうどうろ 金沢東部環状道路の全線供用)

【継続事業】

一般国道8号 つばたきた 津幡北バイパスの部分供用 (か も 加茂 ~ ふなばし 舟橋間)

かけはしがわ 梯川重点改修区間の改修促進

いしかわ 石川海岸 (こまつ 小松工区) の侵食対策の推進

1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

2. 主要施策

広域的連携交流・活力ある地域づくり

【完成事業】

直轄事業と補助事業が連携 かなざわそとかんじょうどうろ やまがわかんせん 金沢外環状道路山側幹線の全線供用

(一般国道8号 かなざわとうぶかんじょうどうろ 金沢東部環状道路の全線供用) (予算額 約55億円)

金沢外環状道路 山側幹線は、金沢市街地の渋滞緩和を目的に国土交通省、石川県、金沢市、土地区画整理事業組合が連携して整備を進めており、平成17年度に全線供用します。

このうち、国土交通省で整備している一般国道8号金沢東部環状道路(延長9.4km)では、つきうらまち 金沢市月浦町 ~ ひがしながえまち 同市東長江町間(延長3.6km)の土工事トンネル工事、舗装工事を完了させ、暫定2車線で全線供用します。

・・・資料1

神谷内ICについては、用地取得が難航し、工事に着手できていない箇所があるため、平成17年度内の供用が困難ですが、本線は暫定2車線で全線供用します。

一般国道470号 ^{のうえつじどうしゃどう}能越自動車道 ^{あなみず}穴水道路の全線供用

(予算額 約44億円)

穴水道路は、能越自動車道のうち能登空港IC(仮称)~^{このぎ}此木IC(仮称)の区間の延長6.2kmの道路であり、残る土工事、橋梁工事および舗装工事を完成させ、平成17年度に全線供用します。

なお、穴水道路については、無料道路として全線供用を開始する予定です。・・・資料2

【新規事業】

一般国道8号 ^{しめの}金沢市示野地区6車線化に着手【金沢地区交通対策】

(予算額 約2億円)

金沢地区交通対策は、金沢市内における一般国道8号の渋滞等の交通問題に対応する事業です。平成17年度は、^{しめのなかまち}示野中町交差点の交差道路である都市計画道路^{かんのんどうかみたちみ}観音堂上辰巳線が海側へ延伸するとともに、同交差点周辺で大規模な沿道商業施設が開業する予定であることから、国道8号の交通渋滞がさらに激しくなることが予想されます。このため、金沢市^{ふじえ}藤江町~同市示野町間を6車線化し、渋滞緩和を図る計画です。平成17年度は、6車線化計画のうち、同交差点の福井方面から都市計画道路観音堂上辰巳線への左折車線を新設し供用します。・・・資料3

【継続事業】

一般国道8号 ^{つばたきた}津幡北バイパスの部分供用(加茂^{かも}~舟橋^{ふなばし})

(予算額 約29億円)

津幡北バイパスは、一般国道8号の交通渋滞緩和を目的とする事業であり、平成17年度は、土工事、トンネル工事、橋梁工事および舗装工事を推進します。そのうち、津幡町^{かも}加茂(主要地方道^{たかまつばた}高松津幡線)~同町^{ふなばし}舟橋(一般国道159号津幡バイパス)間の延長0.5kmを暫定2車線で部分供用します。・・・資料4

一般国道157号 ^{のまちひろこうじ}野町広小路交差点改良山側の部分供用【香林坊拡幅】

(予算額 香林坊拡幅として約5億円)

香林坊拡幅は、金沢市内の一般国道157号の渋滞緩和と快適な歩道の整備を目的とする事業であり、平成17年度は、犀川から^{のまちひろこうじ}野町広小路交差点間の山側(0.17km)について土工事、舗装工事を推進し、右折車線の2車線化、歩道の拡幅、電線共同溝を整備し、部分供用します。・・・資料5

一般国道470号 ^{のうえつじどうしゃどう}能越自動車道 ^{ななおひみどうろ}七尾水見道路 **(予算額 約7億円)**

平成17年度は、平成16年度に引き続き、用地買収と埋蔵文化財調査を推進するとともに本線の土工事に着手します。・・・資料6

一般国道8号 ^{か がくふく}加賀拡幅の整備推進 **(予算額 約2億円)**

加賀拡幅は、加賀市内における一般国道8号の渋滞緩和と交通事故削減を目的とする事業であり、平成16年度から用地買収に着手しています。平成17年度は、引き続き、用地買収を推進します。

一般国道8号 ^{なんごう}南郷拡幅 **(予算額 約3億円)**

南郷拡幅は、加賀市南部における一般国道8号の渋滞緩和と北陸自動車道加賀インターチェンジと加賀地区に点在する温泉地等の観光アクセス向上を目的とする事業であり、平成17年度は、加賀市^{ほそつぼ}細坪地区、^{くまさか}熊坂地区の用地買収を推進します。

安全で安心な地域づくり

【河川】

大規模引き堤による治水安全度向上【^{かけはしがわ}梯川重点地区改修】

(予算額 約12億円)

^{まえかわ}前川合流点から^{しらえおおはし}白江大橋までの間を重点改修区間と位置づけ、下流部より順次引堤による堤防整備を行っており、引き続き重点改修区間の堤防整備(引堤)

等を推進します。平成17年度は、旧堤撤去による流下能力の向上に向け、九竜

橋川排水機場の移設及び、小松大橋の架替等を推進します。・・・資料7

堤防の質的整備【手取川改修】 (予算額 約2億円)

急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため、既設堤防を腹付け盛土をするとともに法勾配の緩やかな堤防の整備を実施します。平成17年度は引き続き、能美市山田地区において整備を推進します。・・・資料8

【砂防】

手取川上流(別当谷)での災害復旧【災害復旧事業】

(予算額 約10億円)

手取川上流部別当谷において、平成16年5月17日に前線通過に伴う大雨と融雪により、大規模な土石流が発生し、砂防堰堤19基、護岸2箇所が損傷したことから、砂防堰堤の腹付け等の補強を行い、堰堤の安定性向上を図ります。

・・・資料9

先端技術を駆使した完全無人化施工

柳谷上流砂防堰堤群の整備促進 (予算額 約8億円)

大正時代から施工され、甚之助谷の崩壊を防止してきた甚之助谷砂防堰堤群の機能を保全し、甚之助谷の崩壊の拡大を防止するため柳谷上流砂防堰堤群(導流落差工、柳谷第22号堰堤嵩上げ)の整備を推進します。また、工事箇所は土石流、落石の危険性が大きいため、先端技術による完全無人化工法により実施します。・・・資料10

白山の大規模地すべりの活動を抑制

甚之助谷地区地すべり対策事業 (予算額 約2億円)

甚之助谷左岸小規模ブロックの地すべりの活動を抑制するため、3号集水

井より集水ボーリングの整備を促進します。・・・資料 11

【海岸】

安全で快適な海岸の保全と創出【小松工区】 (予算額 約 8 億円)

海岸侵食が著しく護岸等の被災が頻発している小松市浜佐美地区で、侵食対策として新型人工リーフの整備を促進します。・・・資料 12

【道路】

一般国道 160 号 大田大泊防災 (百海地区改良) の整備推進 (予算額 約 1 億円)

百海地区改良は、七尾市庵町百海地区における道路幅員狭小箇所及び線形不良箇所の解消を目的とする事業であり、平成 17 年度は平成 16 年度に引き続き用地買収を推進するとともに、一部工事に着手します。

防災・震災対策の推進 (一般国道 8 号、160 号) (予算額 約 1.5 億円)

道路防災事業や橋梁の耐震補強事業を推進します。平成 17 年度は下記の箇所等で工事を実施します。

【震災対策】一般国道 8 号 森下川橋 橋脚補強

【防 災】一般国道 160 号 七尾市佐々波町 消波工 (延長 0.1 km)

交通バリアフリー化の推進 一般国道 157 号 横宮自歩道事業の整備促進 (予算額 約 3 億円)

横宮自歩道整備は、野々市町横宮地区において、誰もが快適で安全・安心に利用できるバリアフリー化された歩行空間の確保を目的とする事業であり、平成 17 年度は、木呂川橋の架替に伴う用地買収を推進し、迂回路工事に着手します。・・・資料 13

交通事故対策の推進

一般国道157号 堀内地区交通安全事業の整備促進（予算額 約1億円）

堀内地区交通安全事業は、野々市町^{ほりうち}稲荷^{のいちまちいなり}交差点から堀内北^{ほりうちきた}交差点において、現況の狭小な車道幅員を解消するため、1車線あたり3.0mの幅員を持った4車線道路にするとともに、堀内北交差点では金沢市街地方向からの右折車線の新設、歩道拡幅とバリアフリー化の実施により、道路の安全性を高め、死傷事故を抑止することを目的とした延長約0.4kmの事業です。平成17年度から新規に測量・設計、用地買収に着手します。・・・資料14

美しさと自然豊かな文化の香りがする地域づくり

【河川】

手取川水辺の楽校プロジェクト（西部拠点）の推進（予算額 約2億円）

自然体験、環境学習や様々な人々が憩える河川空間として活用するため、川北町^{かわきた}と連携して実施している「水辺の楽校プロジェクト」の西部拠点（手取川^{てどり}大橋下流右岸、川北町朝日^{あさひ}地区）の整備（高水敷^{がわおおはし}改正、階段護岸等）に着手します。・・・資料15

【道路】

無電柱化の推進 一般国道157号 野々市町本町^{のいちまちほんまち}電線共同溝 （予算額 約2.5億円）

野々市町本町電線共同溝は、道路景観及び都市防災の向上、歩行空間のバリアフリー化による安心して通行できる空間確保を目的とした上下線合わせ約1.4kmの事業で、平成17年度は、下り線側約0.3kmについて工事を実施します。

・・・資料16

CO₂排出量削減等沿道環境の改善

CO₂（二酸化炭素）やNO_x（窒素酸化物）の排出量は、走行速度が遅くなるほど増加する傾向にあります。渋滞対策を推進して交通を円滑化し、沿道環境の改善を推進します。

[例] 金沢東部環状道路（月浦町～東長江町）の供用により、金沢都市圏の自動車交通によるCO₂排出量を約1,200トン（約0.4%）削減。

金沢河川国道事務所の総事業費

治水事業費

(単位:百万円)

事業費目		平成17年度 当初 A	平成16年度 当初 B	伸び(A / B)
河川	改修費	1,524	1,719	0.887
	維持修繕費	706	677	1.043
	環境整備事業費	154	159	0.969
	工作物関連応急対策事業費	0	8	0.000
砂防	砂防事業費	1,262	1,295	0.975
	地すべり対策事業費	200	224	0.893
海岸	海岸保全施設整備費	781	485	1.610
ダム	堰堤維持費	533	516	1.033
	ダム周辺環境整備事業費	30	30	1.000
調査費		30	16	1.875
建設機械整備費		5	4	1.250
合計		5,225	5,133	1.018

項) 附帯工事費、受託工事費については本表には計上していない。

事業費目	平成17年度 当初 A	平成16年度 当初 B	
河川等災害復旧費	1,040	0	
合計	1,040	0	

道路事業費

(単位:百万円)

事業費目		平成17年度 当初 A	平成16年度 当初 B	伸び(A / B)
改築	交通円滑化事業費	1,430	320	4.469
	地域連携推進事業費	9,940	13,630	0.729
	交通連携推進道路事業費	470	939	0.501
	沿道環境改善事業費	3,064	0	
	小計	14,904	14,889	1.001
維持修繕費		2,119	2,549	0.831
交通安全施設費		1,579	1,532	1.031
交通事故対策費		360	61	5.902
電線共同溝費		830	765	1.085
雪寒対策費		663	661	1.003
沿道環境改善事業費		883	958	0.922
道路調査費		113	107	1.056
合計		21,338	21,415	0.996

項) 附帯工事費、受託工事費については本表には計上していない。

改築予算については、平成17年度から沿道環境改善事業費を追加

維持修繕費には、富山河川国道事務所管理分(くりからトンネル石川県側)C=10含む

総事業費

事業費目	平成17年度 当初 A	平成16年度 当初 B	伸び(A / B)
治水事業費	5,225	5,133	1.018
道路事業費	21,338	21,415	0.996
金沢河川国道事務所計	26,563	26,548	1.001

端数処理のため合計が合わない場合があります。

河川等災害復旧費は合計には計上していない。